





胃切除術を受けられる患者さんへ

様

	手術前日		当日		手術後1日目	手術後2日目以降
			手術前	手術後		
	月 日()		月 日()			
目標	安心して手術を受けることができる			合併症が出現することなく順調に経過する		
処置・検査・観察	検温があります		検温があります 	検温があります 吐き気や痛みなどがないか伺います 心電図をつけます 酸素マスクをつけます 手術室で尿の管を入れます 手術後ICUやHCUへ転棟します	検温があります 朝採血があります 心電図は午前中に外します	検温があります
内服・注射・点滴	薬剤師が持参薬の内容を確認します 中止薬があればお預かりします 夕食後・寝る前に下剤を服用します		内服の指示がある場合は6時まで服用していただきます(血糖降下薬は服用しないでください) 朝浣腸をします 持続点滴を開始します	持続的に点滴をします 痛みが強いつきは痛み止めを使用します	持続的に点滴をします 痛みが強いつきは痛み止めを使用します	痛みが強いつきは痛み止めを使用します
安静度	制限はありません 		手術室まで歩いて行きます 体調に合わせて車椅子で行きます	ICUやHCUへベッドで帰室します 床上安静ですが膝を立てたり寝返りは可能です	ICUやHCUより一般病棟に転棟します 病棟内で自由に過ごせます 初回歩行時は看護師が見守ります リハビリが開始になります	制限はありません 
栄養(食事)	21時以降は絶食です				水分は手術後1日目より飲めます	手術後3日目より流動食が開始され、1日毎に、3分粥、5分粥、全粥、米飯と段階アップします(間食あり)
清潔	シャワー浴できます お臍の掃除をします					医師の許可でシャワー浴が可能になります
排泄	制限はありません			尿を排泄するための管が入ります		尿を排泄するための管を抜きます 自由に歩行できます
指導・説明	入院診療計画書・手術について主治医より説明があります 同意書にサインをして看護師にお渡してください 看護師から手術前後の事について説明があります 麻酔科医より麻酔について説明があります(説明が翌日になることもあります)		手術前に義歯・時計・眼鏡・指輪などは外しておいてください 弾性ストッキングを着用します	主治医から手術の結果について説明があります フットポンプを装着します		退院までに栄養士から術後の食事について説明があります 術後8日目以降退院が可能です

なお、患者様の状態に応じて予定が変更になる場合があります。
ご不明な点がございましたら、お尋ねください。



主治医() 看護師() 薬剤師()

北播磨総合医療センター 外科